

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
AM15Z001		人間生命医科学 (Human Life Science I)					導入教育科目 自然・科学		対面						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態						
必修	1	1	医学部医学科	前期	木3	日本語			オムニバス						
担当 教員	氏名 松浦 恵子														
	E-mail matsura@oita-u.ac.jp 内線 5608														
授業の 概要	医学部に入学し、医学教育を受けるにあたり、より早い時期から医学の専門的な知識を学ぶ。「人間生命医科学I, 人間生命医科学II, 人間生命医科学演習」の3つ全体を通して、実際の器官別臓器についての正常と疾患を、専門とする臨床・基礎医学講座教授等から直接講義を受けることができる。人体解剖生理学を通して、人体がどのように正常であるのか、またそれが異常となったときどのように疾患が起きるのか、『トートラ人体解剖生理学』(丸善出版)をもとに全身を統一的体系的に学ぶ。医学的基礎知識を学ぶための基本的な用語を学習するだけでなく、医師となる礎となる正常と疾患の成り立ちを理解できるようにすることをめざす。「人間生命医科学」では、総論と生物学的・化学的基礎、また外皮系、骨・筋系、神経系を学ぶ。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7
目標1	人体の成り立ちの概要と主な解剖学的用語を説明できる														
目標2	人体を理解するための化学的用語と概念を説明できる														
目標3	細胞・組織の成り立ちの概要を説明できる														
目標4	人体を構成する器官系を説明できる														
目標5	外皮系について説明できる														
目標6	骨格系について説明できる														
目標7	筋系について説明できる														
目標8	神経系について説明できる														
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)							8	2							
授業の内容															
1	人体の成り立ち(医学生物学)														
2	化学概説(医化学)														
3	細胞・組織(医学生物学)														
4	外皮系(皮膚科)														
5	骨の働き(福祉健康科学部)														
6	骨格系(福祉健康科学部)														
7	骨の連結(福祉健康科学部)														
8	筋系(福祉健康科学部)														
9	神経組織(脳神経外科)														
10	中枢神経系(脳神経外科)														
11	脊髄神経・脳神経・自律神経系(神経内科)														
12	生命形態学概論(解剖学)														
13	総まとめ														
14															
15															
ラ イ ク ニ テ ィ ン グ	A:知識の定着・確認	1、知識の定着・確認:穴埋め資料を用いたり、質疑応答を行う。(演習、実技)				工 夫 そ の 他 の	授業の内容カッコ内の講座の教授、あるいは専門の准教授等がオムニバス形式で、正常と疾患について、実践的専門的な講義をする。動画、画像を活用する								
	B:意見の表現・交換	2、意見の表現・交換:授業中に学生に意見や説明を求め、フリーディスカッションの時間を設ける(発問、話し合い)													
	C:応用志向														
	D:知識の活用・創造														
授 業 時 間 外 学 修 の 内 容 と 想 定 時 間	準備学修		教科書を予習する(10h)。												
	事後学修		授業での学修を活かし、各領域での知識定着の完成度を高め、また領域横断的に理解を深める(教科書あるいは配布資料を復習する(20h))。												
	想定時間合計		30												
教科書		佐伯由香 細谷安彦 高橋研一 桑木共之(編訳)『トートラ 人体解剖生理学 原書11版』丸善出版、2020年、ISBN 9784621305393 授業中に配布するプリントを併用する場合もある													
参考書		参考書は指定しない。 必要な場合は、授業時に指示する。													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	試験		95%									
	ディスカッション											
	試験で教科書各章末の学習概要とキーポイント、および本文中のチェックポイントと主な図表が説明できる場合によって中間テストを行い評価に加える											
注意事項												
備考	対面の場合、座席は指定された座席表に従う											
リンク	授業についての詳細な内容については、以下のページ (Moodle) を参照すること URL <a href="https://lms.app.oita-u.ac.jp/">https://lms.app.oita-u.ac.jp/</a>											
担当教員の 実務経験の 有無												
教員の 実務 経験	附属病院の医師											
実務経験を いかした教 育内容	皮膚・骨格筋・骨・神経系の解剖、生理、病理、診断や、各種疾患の病態ならびに疾患を惹起する内的・外的因子について講義する。											